

建物や歴史を  
もっと活かして、  
町がイキイキ  
するには？

得意なコトを  
自分のペースで  
活かしたい♪

自分ができる  
町との関わりって  
なんだろう？

仲間と一緒に  
新しいことを  
始めたい！

# 町を 生き活き 応援隊 養成講座

## — ほしい未来は自分でつくろう！ —

自分の思いをカタチにしたら、町がもっとイキイキする。

すでに実践している方のお話を聞き、新たな気づき・交流の場をもうけます。

終了後は各団体に参加し、実践でより深く学ぶこともできます！

参加費無料

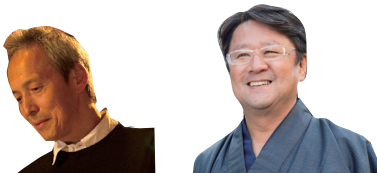
平成30年

9/1

定員 50 名

13:30 - 16:30

### 町が生き活きする ヒントを学ぶ



本庄まちネット代表  
戸谷 正夫 氏

ぎょうだ足袋蔵  
ネットワーク 代表  
朽木 宏 氏

まちを再確認、現状を把握し再  
評価、活用事例発表のほか、参  
加者の皆さんの課題解決に向け  
たワークショップも行います。

平成30年

9/11

定員 50 名

10:00 - 12:30

### 自分も町も元気になる 地域のしごとづくり



choinaca 代表  
矢口 真紀 氏

やりたいことから小さな仕事をつ  
くろう！全国で広がる『月3万  
円ビジネス』のお話と、仕事づく  
りの体験ワークショップ。

※託児あり(お申込時 要予約)

平成30年

10/6

定員 50 名

13:30 - 16:30

### ブランディング デザインの実践

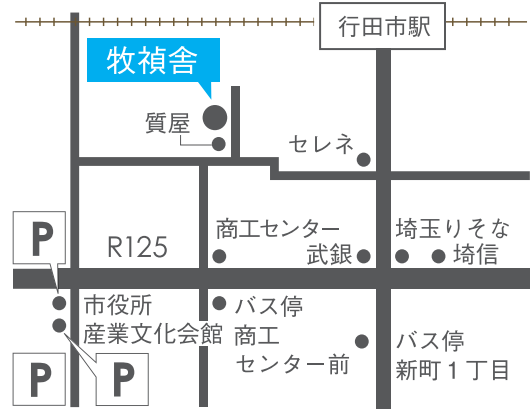


indexdesign 代表  
宇佐美 由里子 氏

ブランドとは？ 概論から実例  
まで、参加者の思いを具体的な  
デザインにするワークショップも  
行います。地域や企画の価値を  
高めましょう！

## 「町を生き生き応援隊養成講座」

- 日 時：**第1回 「町が生き生きするヒントを学ぶ」  
9/1(土)13:30～16:30
- 第2回 「自分も町も元気になる地域のしごとづくり」  
9/11(火)10:00～12:30
- 第3回 「ブランディングデザインの実践」  
10/6(土)13:30～16:30
- 会 場：**牧禎舎 【各回共通】  
(〒361-0077 埼玉県行田市忍1丁目4-11)
- 主 催：**NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク



## 申込み方法

お申込・お問合せは、NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークまで 以下の方法でお願いします。

- NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク メールアドレス：[gyoda2@tabigura.net](mailto:gyoda2@tabigura.net)
- FAX：048-552-1010

【お問合せ先】 NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク 〒361-0073 埼玉県行田市行田 5-15  
TEL：048-552-1010

【申込み〆切】 各回開催日3日前

町を生き生き応援隊講座 申込み	
お申込み講座 参加希望日程□に、 ✓印をつけてください ※ 託児を希望される方は、その □にも印をつけてください	<input type="checkbox"/> 第1回 町が生き生きするヒントを学ぶ <input type="checkbox"/> 第2回 自分も町も元気になる地域のしごとづくり <input type="checkbox"/> 託児希望 <input type="checkbox"/> 第3回 ブランディングデザインの実践
氏 名 (ふりがな)	
住 所	〒
EメールアドレスまたはFAX	
確認のご連絡先(携帯電話など)	
このセミナーを 知ったきっかけは どちらですか？	・ぎょうだ足袋蔵ネットワーク ホームページ ・牧禎舎 ブログ ・牧禎舎 ツイッター ・ぎょうだ足袋蔵ネットワーク フェイスブック ・ぎょうだ足袋蔵ネットワーク ツイッター ・講演会チラシ ・その他 (

【個人情報の取り扱い】 記入いただきました個人情報につきましては、適切にお取り扱いいたします。NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが取得した個人情報は、次の場合を除いて第三者に提供いたしません。1.ご本人の同意がある場合2.法令に基づき、提供に応じなければならない場合3.人の生命、身体又は財産保護のために必要であって、ご本人の同意を得ることが困難な場合4.利用目的の達成に必要な範囲で業務を委託する場合5.合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報を提供する場合であって、承継前の利用目的の範囲内で当該個人情報を取り扱う場合6.公衆衛生の向上または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人の同意を得ることが困難な場合

このチラシは埼玉県の専門家ボランティアが作成しました。